講義概要

SYLLABUS

令和6年度

3年前期

理学療法学科

神戸リハビリテーション衛生専門学校

KOBE COLLEGE OF REHABILITATION AND HEALTH

講義名	臨床実習（前後の評価1単位を含む）
講 師	臨床実習指導者　理学療法士として病院や施設で5年以上の勤務経験があり、厚生労働省指定の講習会を修了した。その経験を活かして、臨床実習での指導をおこなう。
学年・期	3年前期．19単位．810時間（実習）
講義目標	臨床実習では情報収集、面接、動作分析、検査測定から問題点の抽出といった一連の理学療法評価をおこない、理学療法評価に基づいた理学療法プログラムを立案して最低限の理学療法を模倣レベルで実施できる。また、通所リハ・訪問リハの経験を通して理学療法士および関連専門職の役割を理解する。

実習計画	内容
実習前	臨床で直接患者に接するにあたり、総合的知識及び基本的技能・態度を備えていることを確認するための評価を実施する。
Ⅰ期	情報収集、面接、動作分析、検査測定から問題点の抽出といった一連の理学療法評価を実施する。
Ⅱ期	理学療法評価で得られた所見や患者のNeedsをもとに、一般的な疾患像と比較検討し、適切な目標を設定し理学療法プログラムを作成する。
Ⅲ期	理学療法評価と理学療法のプログラムを作成し、数週間の理学療法実施の後に再評価をおこない理学療法効果を確認する。
実習後	実習前に確認した総合的知識及び基本的技能・態度について判定するための評価を実施する。
実習期間中に1単位以上は、通所リハ・訪問リハ利用者に対する理学療法を経験する。	

履修上の注意	常に社会人としての姿勢を忘れずに責任をもって行動すること。 実習指導者や患者様への言葉づかいには注意し、服装や容姿にも気を配り、しっかりと挨拶ができ、好感のもてる態度で臨むこと。 積極的な態度で臨み、実習指導者の指導を受けながら教科書や参考図書を用いて臨床での疑問をできるだけ早い時期に解決できるように心がけること。 各実習終了後に、学内にて臨床実習セミナーを実施する。
成績評価	実習評価表に基づき、出席状況、情意面・知識面・技術面、およびレポート等の提出状況について実習指導者と本校教員によって判定する。また、臨床実習の前後で評価をおこなう。 単位認定者：前田
テキスト	
参考図書 その他	臨床実習要項